

平成 27 年 9 月 10 日

各 位

株式会社ビーマップ

個人投資家向け会社説明会 説明資料

このたび、当社は平成 27 年 9 月 10 日(木)に日本証券アナリスト協会の主催により、個人投資家向け会社説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

■目的

個人投資家向け会社説明会を通じて、より多くの個人投資家に当社を知っていただくことを目的としております。

説明会では、当社の事業概要と中期計画についてご説明させていただきました。

■概要

開催日時： 平成 27 年 9 月 10 日(木) 14:40 ～ 15:30

会場： 東京証券取引所ビル 6F

ご説明者： 代表取締役社長 杉野 文則(すぎの ふみのり)

※ 次頁以下に当説明会で配布した資料を掲載いたしましたのでご覧下さい。

以 上

株式会社ビーマップ 会社説明資料

2015年9月

株式会社ビーマップ

4316

BeMap Confidential Proprietary

 BeMap 会社概要

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">■ 会社名 株式会社ビーマップ■ 所在地<ul style="list-style-type: none">・本社 〒101-0047
東京都千代田区内神田2-12-5
内山ビル4F・5F・福岡事業所 〒812-0044
福岡県福岡市博多区千代4-1-33
西鉄千代田県庁口ビル 3F■ 創立 1998年9月4日■ 資本金 918百万円■ 株式数 3,210,800株
(うち自己株式972株)
(1単位 100株)■ 役員 7名■ 従業員 73名 ※2015年7月1日現在■ 加盟団体<ul style="list-style-type: none">・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)・日本鉄道サイバネティクス協議会 (一般社団法人日本鉄道技術協会特定部会) | <ul style="list-style-type: none">■ 役員<ul style="list-style-type: none">代表取締役社長 杉野 文則取締役 大谷 英也取締役 川内 武取締役 岩渕 弘之常勤監査役 小山 信行監査役 小林 義典監査役 小林 弘樹■ 主な取引先
NTTブロードバンドプラットフォーム、
その他NTTグループ各社(NTTルパルク、NTTドコモ、NTT東日本他)、
ジェイアール東日本企画、
日本テレビ放送網、テレビ朝日、毎日放送、
ヤフー、味の素、デンソーコミュニケーションズ、
ゼンショーHD、三光マーケティング他 |
|---|---|

BeMap Confidential Proprietary

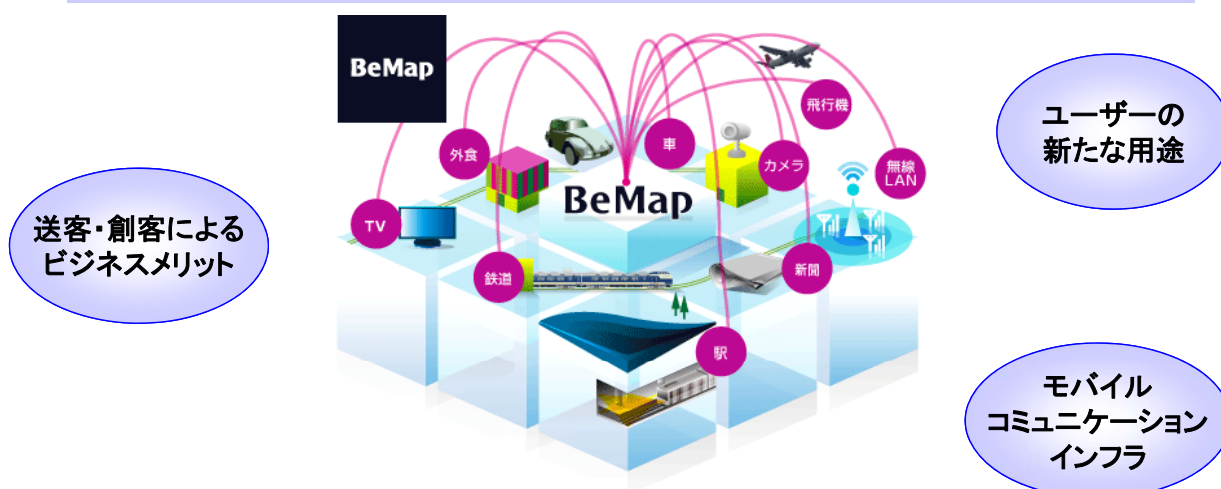
ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

Best Mobile Application Producer



～社会インフラ間クロスメディアのハブとなる～



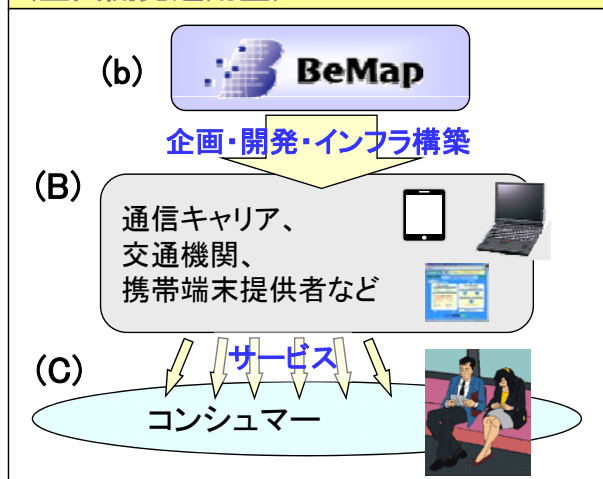
当社は創業以来ずっと、モバイル環境とユーザー用途の進化を見据え、
「近い将来にこうなるであろうITライフ」を創造する先駆者を目指しています。

ビーマップの事業領域

2タイプのビジネスモデル

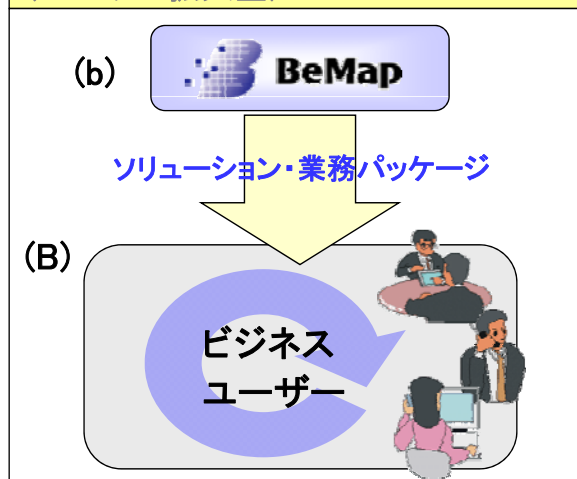
btoBtoC型ビジネス

(企画開発運用型)



btoB型ビジネス

(ユーザー拡大型)



分野別事業分野

BeMap ビーマップ事業分野の全体構成

ビーマップの事業分野

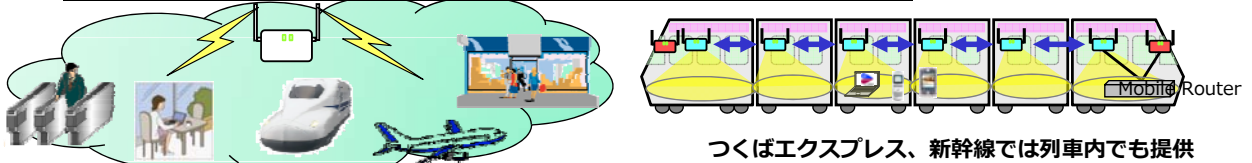
事業セグメント	事業分野	業務内容	事業展開状況
クロスメディア	無線LAN配信 インフラ構築	ー無線LANホットスポットにおけるコンテンツ配信インフラを開発・提供するサービス、業務用パッケージ	ースマートフォン等無線LAN機器の普及で事業拡大を目指す
ナビゲーション	交通関連	ー鉄道等交通機関の乗り継ぎ（経路探索）技術の提供 ーJR東日本予約サイト（えきねっと）への提供	ー「えきねっと」を中心とした開発・運用 ーWi-Fiとの連携により横展開
ソリューション	監視録画システム	ーカメラ付携帯電話への画像転送システムの開発・運用保守 ー遠隔カメラ監視のASPサービス	ーモニタリング倶楽部を営業展開
	TVメタデータの ASP事業	ーTV番組メタデータのASPを構築し btoBへの展開はかる	ーテレビ局、広告代理店、PCメーカー、ECサイト等へ提供。テレビ局との事業も拡大
	コンテンツプリント サービス （こんぷりん）	ーアイドルやキャラクターなど、さまざまなジャンルのカレンダーやプロマイドをコンビニのコピー機で手軽に購入できるサービス	ー全国のコンビニ（サークルK、サンクス、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン）にてサービス提供中

クロスメディア事業

BeMap クロスメディア事業の内容①

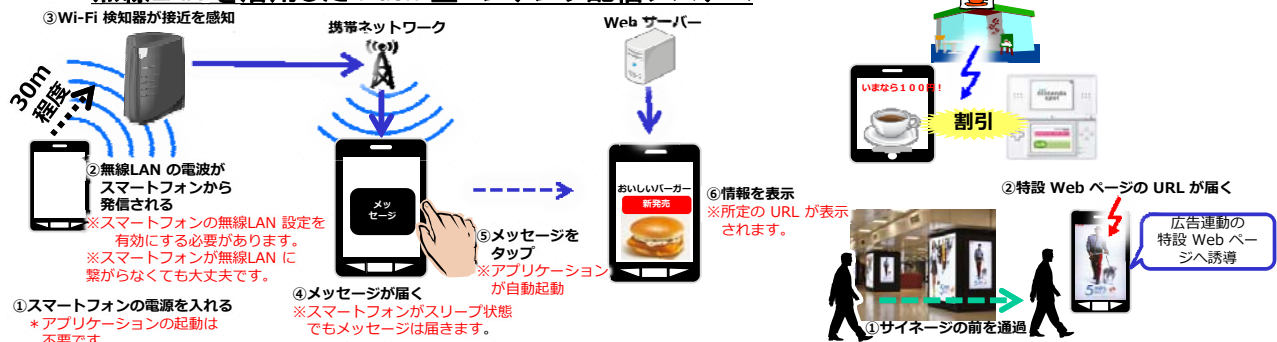
ビーマップ 無線LAN 関連事業

- 無線LANのプラットフォームの企画、開発、運用。無線LAN APを通した、情報配信の提供。
- 人口集中地域においての通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツの配信を行う。通信事業者、鉄道事業者他を通して展開。



※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食にて展開

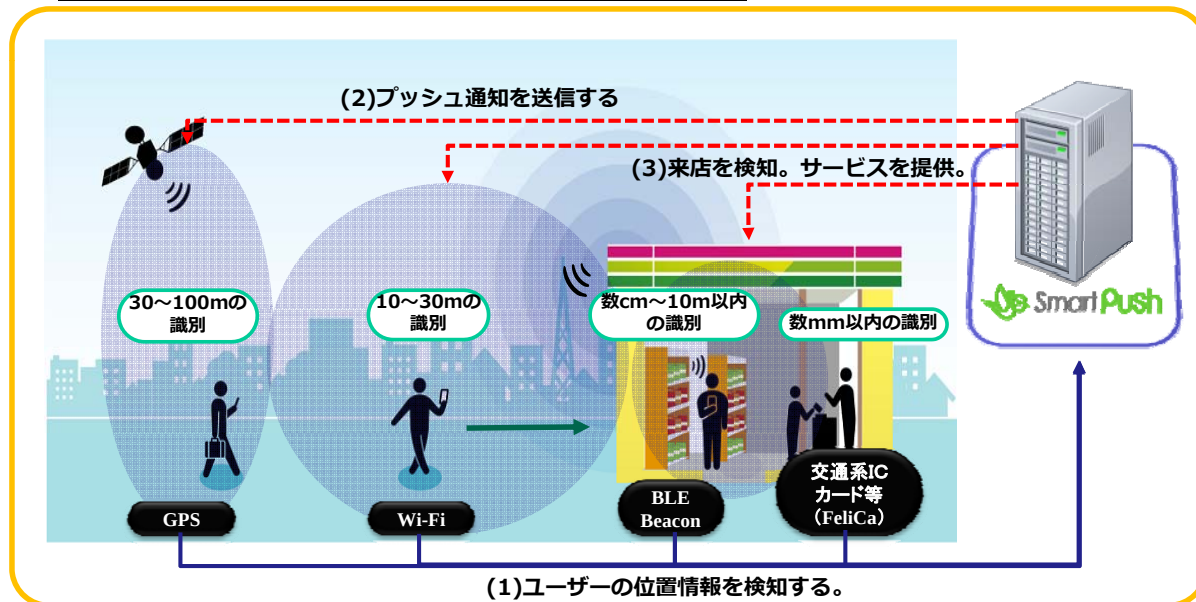
■ 無線LAN を活用した Push 型コンテンツ配信システム





GPS/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) を複合的に活用できる サービスプラットフォームを提供

- GPS/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) 等、様々な位置情報、配信に関する技術を複合的に連携させながら提供できるプラットフォームを提供可能。



ナビゲーション事業

ナビゲーション事業

事業概要

- 経路探索ソフト トラベルナビゲータの技術・ノウハウをベースにした
 - ・JRインターネット予約サイト「えきねっと」の構築・運用
 - ・駅周辺ビジネス、列車内サービスの企画・構築・運用
 - ・交通系ICカードを活用したサービスの企画・構築・運用

えきねっと

JR東日本の列車予約サイト
「えきねっと」向け開発



交通系ICカードを活用したビジネス



駅・列車内ビジネス



送客・創客ビジネス



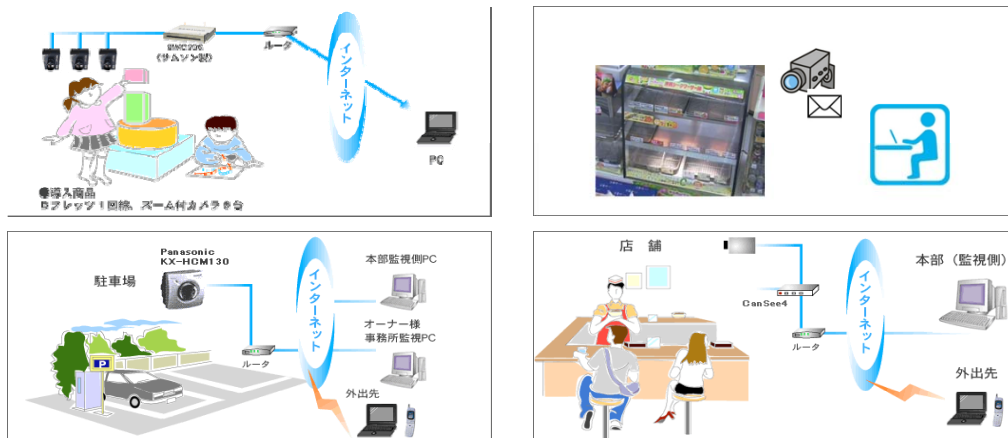
ソリューション事業

モニタリング

事業概要

- インターネット／ウェブカメラを活用し遠隔地を監視するシステムを提供。
大手飲食店、コンビニ等へ導入。
- 監視から、画像解析により店舗ソリューションへ展開。商品陳列、商品の欠品を自動解析し
ビジネスチャンスのロスを減らします。

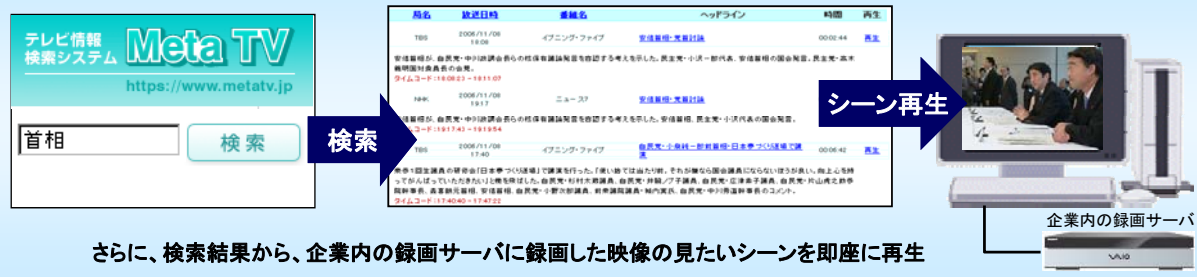
モニタリングイメージ図



-TVメタデータ-

- テレビ番組の放送内容をデータベース化 ⇒ テレビ情報検索サービス「MetaTV」

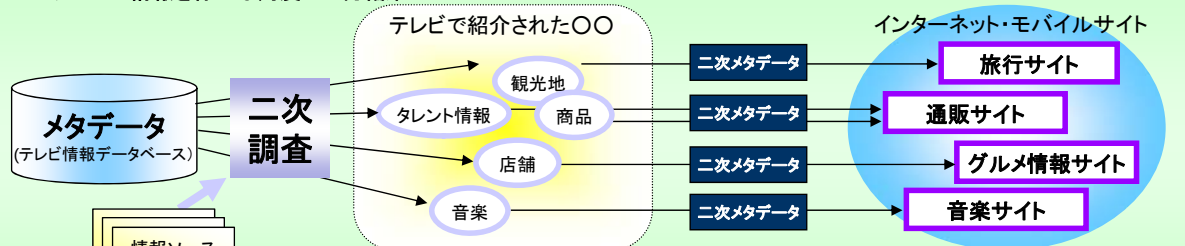
テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供



さらに、検索結果から、企業内の録画サーバに録画した映像の見たシーン即座に再生

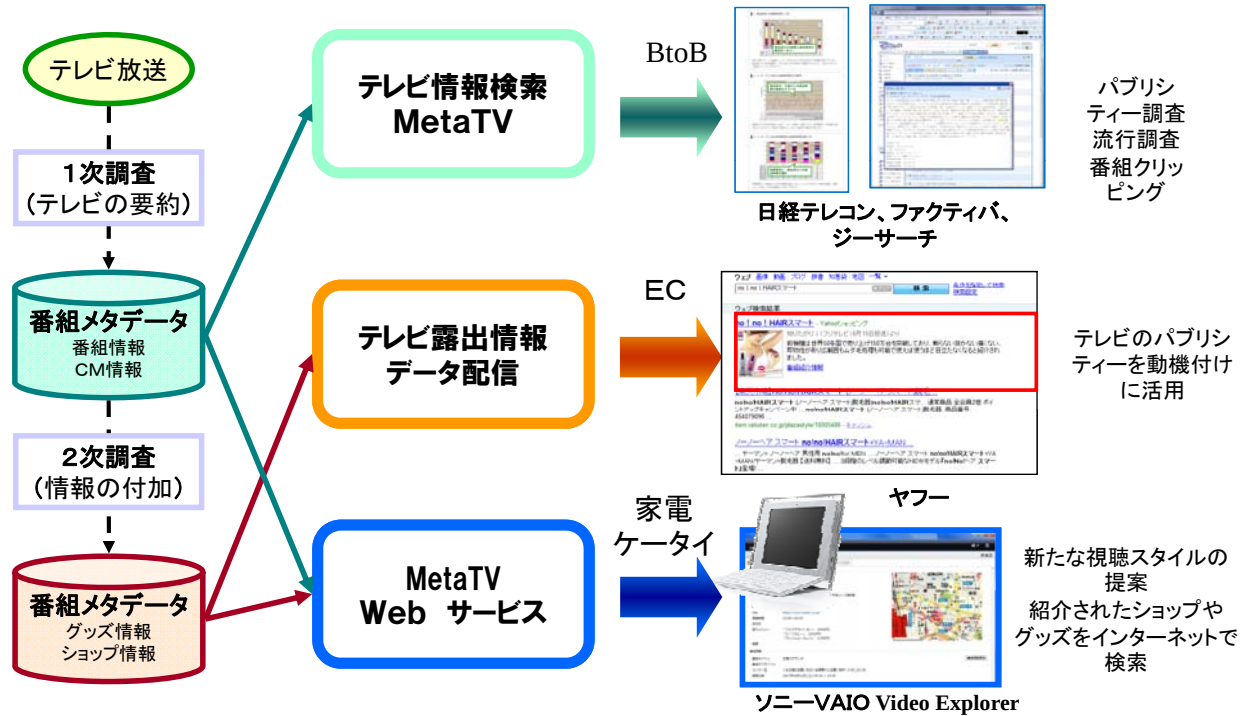
- テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」

テレビの情報を様々な角度から再編集

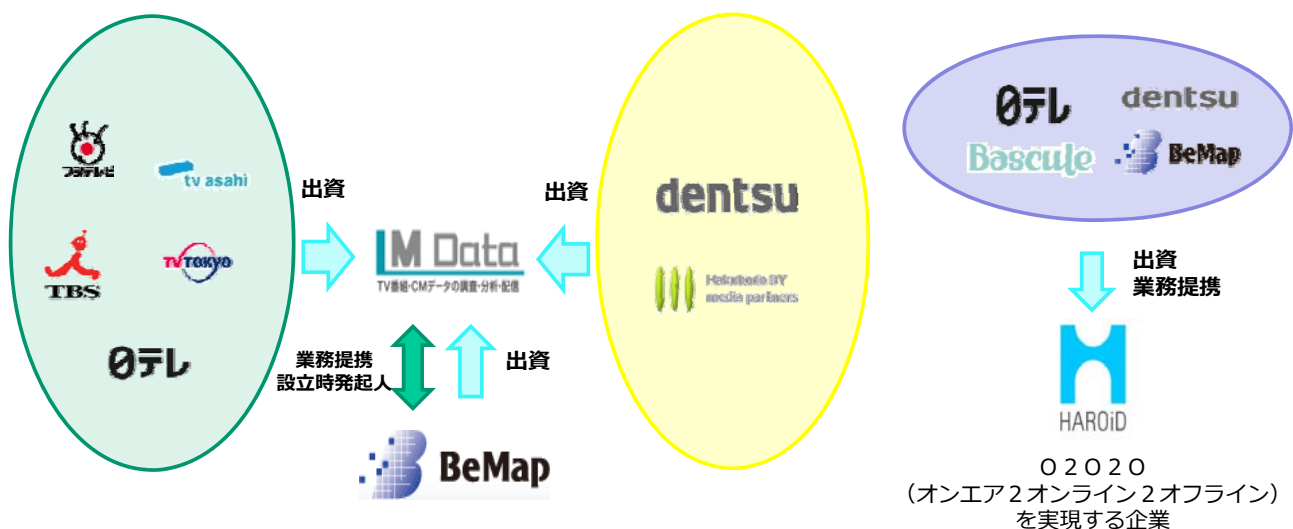


テレビで放送された注目度の高い情報をネットサービスに提供
※テレビ局、大手企業、広告代理店、ECサイト、PCメーカーへ提供。

提供するTVメタデータサービス 例



テレビ関連出資に関して当社の立ち位置



コンビニのマルチコピー機を活用したコンテンツプリントサービス

- ビーマップは、コンテンツのプラットフォームとして、コンテンツ集めからシステム開発、コンテンツ編集、配信までを行っています。



共同事業体として 告知プロモーション・イベントの実施

こんぷりんWebサイト <http://www.conprin.com/>

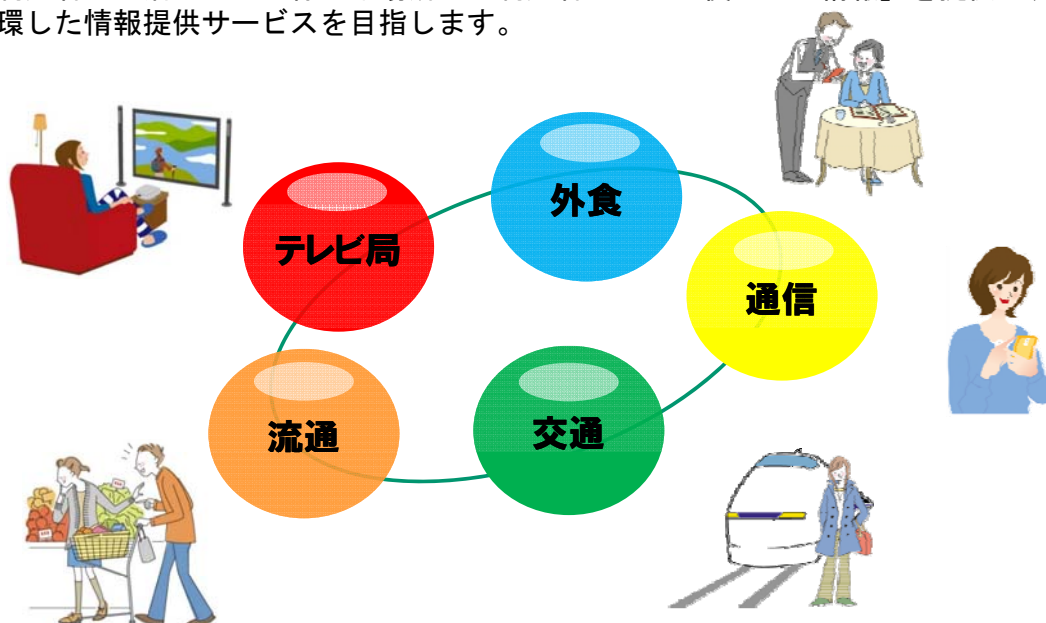
コンテンツ事例

- AKB48/乃木坂46(期間限定企画)
- グラビアカレンダー
- 漫画キャラクターカレンダー

ビーマップが今後目指す分野

異業種連携により新たな事業を創造

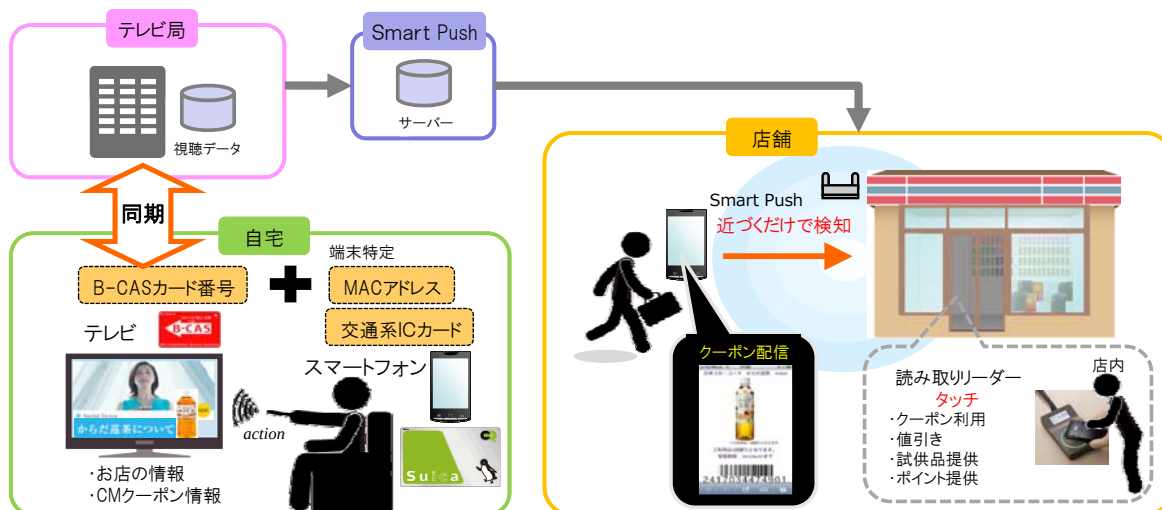
各業界のトップ企業をITで繋ぐ事により、新たな事業分野を創造します。
利用者の生活シーンの様々な場所で「利用者にとって役に立つ情報」を提供し、一環した情報提供サービスを目指します。



テレビ視聴とWi-Fi・交通系ICカードを活用したサービス

家庭内のテレビの視聴データと、お手持ちのスマートフォンを事前登録で紐づけておくことで、テレビで放送された番組やCMなどの情報にアクションしておくことにより、スマートフォン、交通系ICカードで店舗においてクーポンやお得なサービスが自動配信されます。

・2014年度総務省所管事業「スマテレ・アプリ効果検証」事業に類似システムが採択されました。
→採択内容「交通ICカードと連動した各種情報をテレビ画面上に表示」



インバウンド（訪日外国人需要）の取り込みと当社の立ち位置

訪日外国人の3大不満

交通機関の使い方が分かりにくい

➡ ナビゲーション事業

公衆無線LANを使える環境が少ない

➡ クロスメディア事業

コミュニケーション（言葉）できない

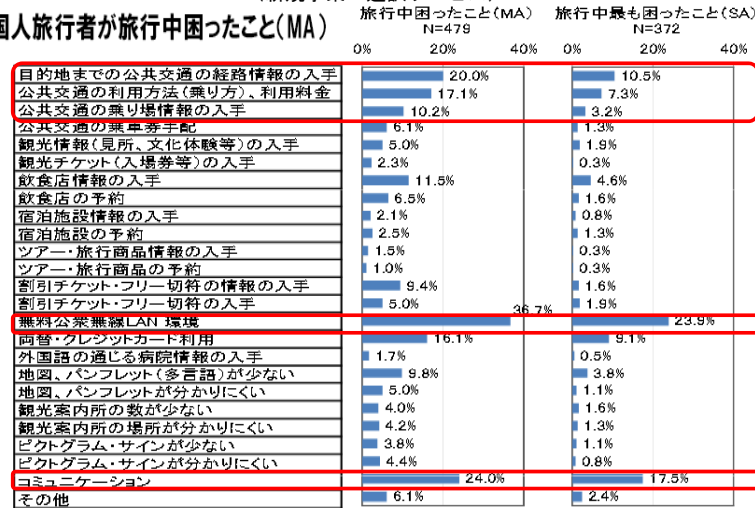
➡ ソリューション事業

（新規事業：通訳サービス）

「インバウンドのビーマップ」へ

全てを提供できる優位点を生かし、事業間連携を深めてインバウンド需要を取り込んでまいります。

■外国人旅行者が旅行中困ったこと(MA)



出典：観光庁資料「外国人旅行者の日本の受入環境に対する不便・不満」

※新規事業の通訳サービスについては、近日中のサービス開始に向け準備を進めております。

2016年3月期（第18期）の見通し と中期経営計画



前事業年度(2015年3月期)の業績

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減	前期比
売上高	1,343	1,283	△60	△4.4%
営業利益	74	35	△39	△52.5%
経常利益	75	37	△38	△50.7%
当期純利益	104	3	△101	△96.5%

※当期純利益については、税効果会計に基づく法人税等調整額を加味した数字であることから、業績評価の指標として用いる際はご留意願います。

主要トピックス

- 1) 第1、第4四半期会計期間において四半期営業利益を計上し、通期黒字維持
1Q+77百万円、2Q△47百万円、3Q△55百万円、4Q+61百万円
- 2) 資本金及び資本準備金の額の減少並びに資本剰余金の処分
平成26年9月末に実施。繰越損失を一掃することにより、財務体質の早期健全化と今後の財務戦略上の柔軟性及び機動性の確保を行うことを目的とする。繰越利益剰余金を蓄積した上で株主還元策を検討したい。
- 3) 「東海道新幹線 車内コンテンツ閲覧サービスの実証試験」に協力
- 4) 総務省所管事業「スマテレ・アプリ効果検証」事業へ当社企画が採択
- 5) 同時通訳サービス(仮称)の開発に着手

BeMap Confidential Proprietary

24



当事業年度第1四半期の状況

(単位:百万円)

	2014.6(個別)※		2015.6(連結)		対前年※	
		売上比		売上比	増減額	売上比差異
売上高	501	—	254	—	△247	△49.2%
営業利益	+77	15.5%	△38	△15.0%	△115	△30.5%
経常利益	+77	15.6%	△37	△14.9%	△114	△30.5%
四半期純利益	+43	8.7%	△30	△12.0%	△73	△20.7%

※前年同期比につきましては、ご参考値として前年の個別決算との比較値を記載しております。

主要トピックス

- 1) 福岡事業所開設
- 2) コンテンツプリントサービス『こんぷりん』の提供を開始
コンビニエンスストアへの集客という観点で様々な事業者から高評価を得るも、収益への貢献は小規模
- 3) 子会社、株式会社こんぷりんを設立、連結決算へ移行
- 4) クロスメディア事業分野での大型案件減少により売上高減少、増員の影響もあり損失を計上

BeMap Confidential Proprietary

25

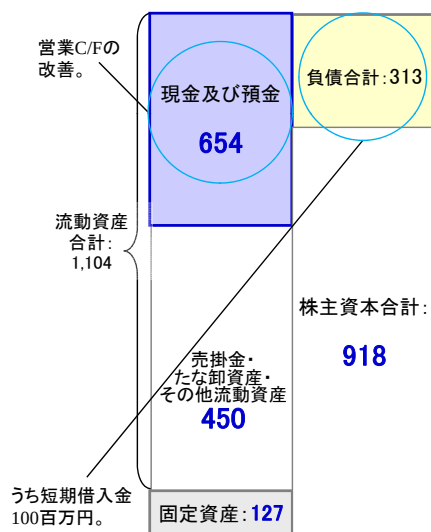


貸借対照表の推移

※ご参考値として前期・前々期の個別BSの数値を記載しております。

2014.3期(個別)※

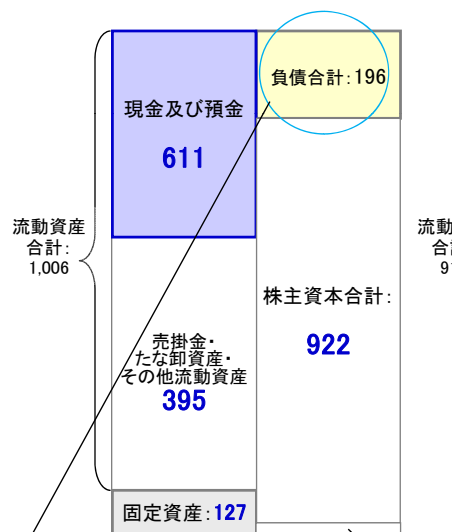
資産合計／負債純資産合計: 1,232



自己資本比率
74.5%

2015.3期(個別)※

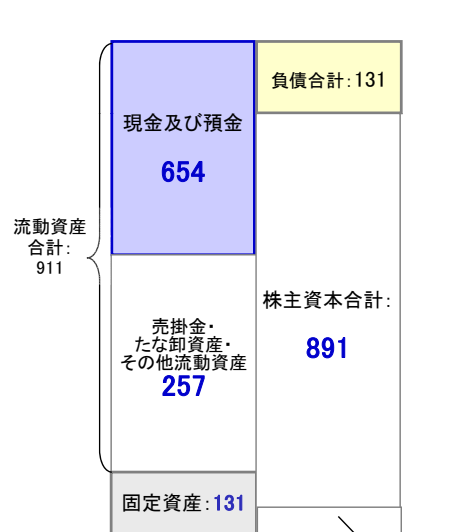
資産合計／負債純資産合計: 1,133



自己資本比率
81.4%

2016.3期第1四半期(連結)

資産合計／負債純資産合計: 1,043



自己資本比率
85.4%



2016年3月期通期・中間期の連結業績予想

(単位: 百万円)

	2015年9月 中間期業績予想	2016年3月 通期連結予想	前期実績※	前期比※
売上高	520	1,440	1,283	+12.2%
経常利益	+10	+55	+37	+48.4%
純利益	+10	+45	+3	+1132.3%

※前年同期比につきましては、ご参考値として前年の個別決算との比較値を記載しております。

売上高	クロスメディア事業分野は大型案件減少に伴い、拡張、運用、サービス案件にシフトへ。主にソリューション事業分野の新規事業立ち上げに注力。
営業利益 経常利益 純利益	製造原価: 運用/ASP等は利益率向上の見込み。開発等は保守的に想定。販売費・一般管理費: 人員増に伴う固定費増を考慮。抑制に努め、一定の利益確保へ。税効果の影響を最小限に留めるため期初計画は保守的に見積る
リスク	新サービス事業化の遅れ。先行投資の増加。

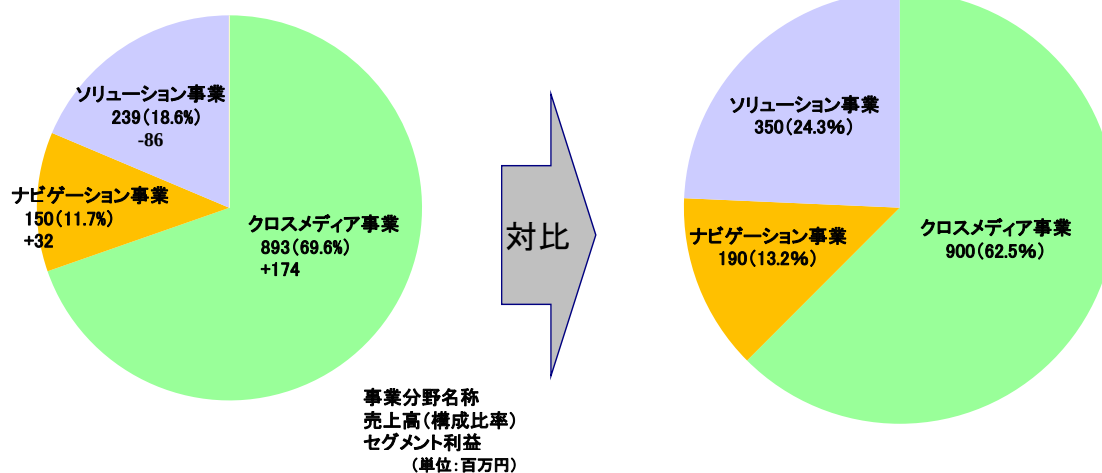


BeMap 事業セグメント別売上構成比(見込み)

前期に引き続き、クロスメディア事業が売上の大きな割合を占める予定だが、ソリューション事業を中心に新サービス立ち上げに取り組む。

2015年3月期(個別)※
売上合計1,283百万円

2016年3月期(連結)(見込)
売上合計1,440百万円



※2015年3月期は、ご参考値として個別決算のデータを記載しております。

28



BeMap 中期3カ年の経営目標

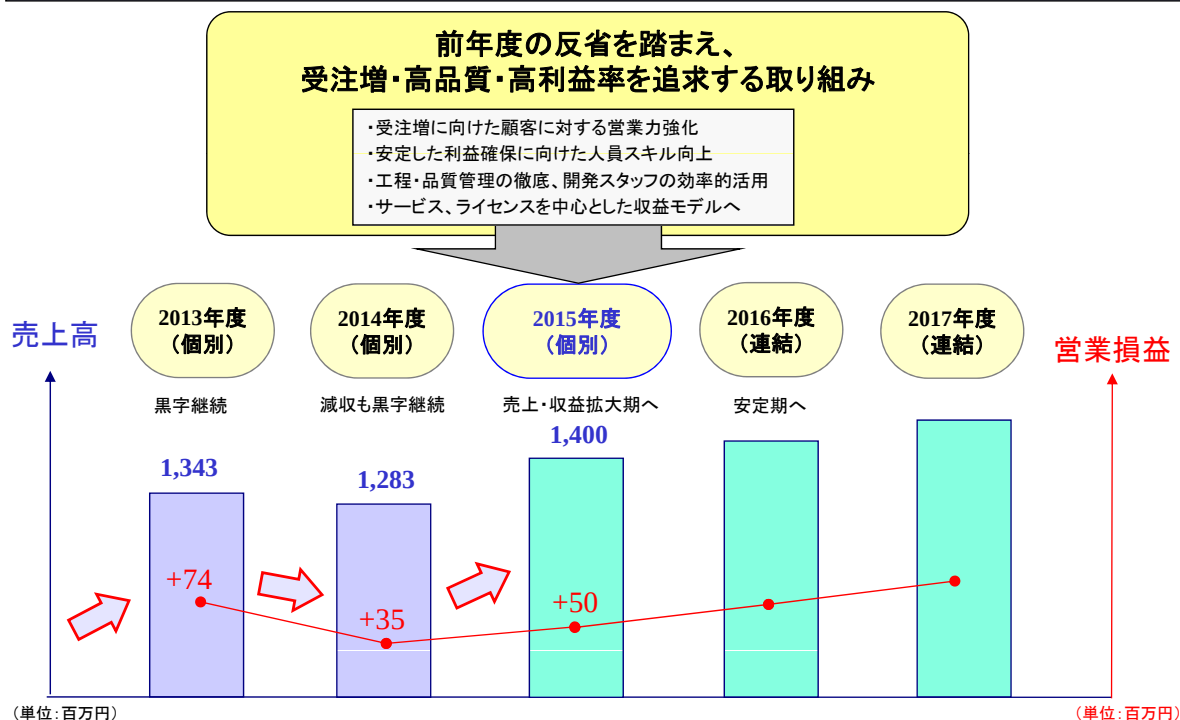
(単位:百万円)

	2015年3月期 実績(個別)※	2016年3月期 予想(連結)	2017年3月期 目標	2018年3月期 目標
売上高	1,283	1,440	1,490	1,540
クロスメディア	893	900	920	940
ナビゲーション	150	190	200	210
ソリューション	239	350	370	390
営業利益	35	55	65	75
経常利益	37	55	65	75
当期純利益	3	45	55	65

※ 2015年3月期は、ご参考値として個別決算のデータを記載しております。



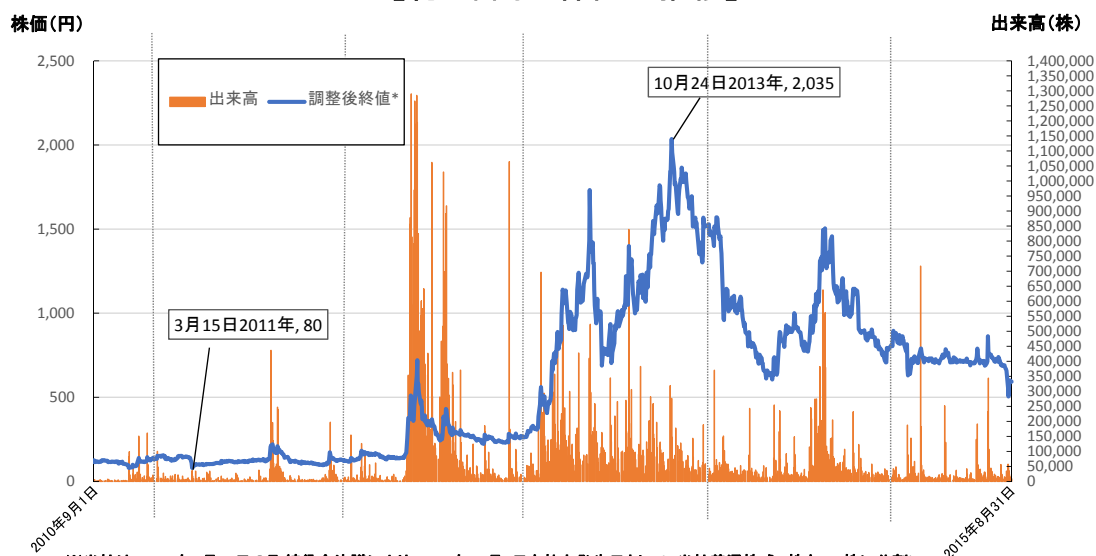
2015年度＝営業提案力・開発力強化、運用・ライセンスの強化、当社独自の
新規事業



30



【約5年間の株価の推移】



※当社は、2013年5月14日の取締役会決議により、2013年10月1日を効力発生日として、当社普通株式1株を100株に分割いたしました。株価及び出来高につきましては、分割後に換算して表記しています。

【主要財務データ】

時価総額(2015/8/31)	1,904百万円
発行済み株式数(同上)	3,210,800株
PBR(同上)	2.13倍
EPS(2014/3期)	14.02円

総資産(2014/3期)	1,133百万円
純資産(同上)	918百万円
自己資本比率(同上)	81.4%
配当/配当利回り	—/—

31

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなれるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル4F・5F
経営管理部 IR担当（大谷）